

科目コード	E1005	科目名	学びのベーシック(2)				
履修区分	必修	開講期	1年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	古井戸 祐樹 / 1年チューター						
授業の概要	大学生としての学びを充実させるために、効果的な学習方法を知り、アカデミックライティングによるレポート作成の方法を学ぶ。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP: ディプロマ・ポリシー(卒業認定・学位授与の方針) = 卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	1. 探究的に学ぶための効果的な学習方法や、アカデミックライティングによるレポート作成の方法を身につける。 2. アカデミックライティングによって、レポートを作成することができる。						
履修上の注意事項	授業中のレポートはPCで作成しますので、各自、PCとWordの準備をしておいてください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	ガイダンス(授業の概要、授業の目標、評価の方法など)【権田 あずさ】				事前: アカデミック・ライティングとは何かを調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	2	レポートとは(他の文章との違い、種類、特徴、レポートの構成など)【権田 あずさ】				事前: レポートとは何かを調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	3	パラグラフの構成・アウトラインの作成・論理的な思考【権田 あずさ】				事前: パラグラフとは何かを調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	4	パラグラフのつながり/レポート作成のために(剽窃とは、引用の方法、参考文献の書き方など)【権田 あずさ】				事前: レポート作成の留意点について調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	5	効果的な読みのために(本・論文の探し方、読み方、要約など)【権田 あずさ】				事前: 「学び」に関する書籍や論文を調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	6	レポート作成のために(マインドマップなどの活用)【権田 あずさ】				事前: マインドマップとは何かを調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	7	レポート作成のために(アウトラインの作成)【権田 あずさ】				事前: アウトラインとは何かを調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	8	文章診断(構成・パラグラフに関して)【権田 あずさ】				事前: レポートの構成について調べておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	9	文章診断(文に関して)【権田 あずさ】				事前: 作成したレポートを読み返しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	10	文章診断(文法・語に関して)【権田 あずさ】				事前: 作成したレポートを読み返しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	11	文章診断の具体的手順【権田 あずさ】				事前: 作成したレポートを読み返しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	12	文章診断1回目(グループごとに)【1年チューター】				事前: 作成したレポートを読み返しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	13	文章診断2回目(グループごとに)【1年チューター】				事前: 作成したレポートの修正箇所を確認しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
	14	文章診断3回目/レポートのリライト【1年チューター】				事前: 作成したレポートの修正箇所を確認しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)	
15	学びのふりかえりとまとめ【権田 あずさ】				事前: これまで配布した資料やテキストに目を通しておく。(30分) 事後: 講義内容について再確認し、資料やノートを整理する。(30分)		
成績評価方法	授業の提出物40% レポート60% ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者(出版社)					ISBNコード	
	河野哲也『レポート・論文の書き方入門第4版』慶應義塾大学出版会、2018年					4766425278	
参考書	『新版 論文の教室 レポートから卒論まで』・戸田山和久(NHK出版)					978-4-14-091194-5	
	『この1冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本』・石黒圭(日本実業出版社)					978-4-534-04927-8	
教員からのメッセージ	自分の興味のある学術書を一冊決めて熟読すること。また授業でも説明するが、参考文献や論文を最低5本程度読んでまとめられるように日頃から学術的な資料に触れるように心掛けてください。						
教員との連絡方法	質問等ある方は掲示板を通じてか直接メール(azugon@hcu.ac.jp)で連絡をしてください。						
実務経験のある教員							